

古民家再生活動

○ 経過

私が入会している森林塾青水は、古民家の再生事業を始めていた。

24年度の活動で、古高と山口は内部の清掃活動に参加した。このときは、埃がもうもうと舞う中で作業したことを思い出す。特に、2階は、ネズミの糞と小便の匂い、その上カメムシの臭い匂いに悩まされたのだった。山口さんは最後まで2階で清掃したが、私は早々に退散し、外の片付けを手伝った。

この関わりの中で、のらえもんとしてもこの施設を利用して活動の巾を広げられるのではないかと考えた。そのためには早めの完成に協力しようということになった。会員にもこのことを伝えると、内装・電気工事・片付けにボランティアとして参加する意思表示をいただいた。資金面でも協力できないかと考えて、しそジュースと同じように「足立区公益活動げんき応援事業」に助成金の申請をすることにした。4月に申請し、6月に決定した。

内容は、囲炉裏：30,000円、ストーブ：50,000円、木材：50,000円の予算である。そのうち2/3しか助成されず、残りの1/3はのらえもんの負担となった。

- 平成25年4月29日、のらえもん自然塾の最終日に、27名全員で古民家の見学に行った。このときは、床はがされ土間がむきだしになっていた。北山さんが作業していた。私たちは、見学後、雨呼山へ登りに行ったり古民家のまわりで遊んだりして過ごした。
- 平成25年5月23日、古高・山口が床はがしに全日協力した。囲炉裏の土台が見えてきたり、ブロックが30個程も見つかったりして、家主でないとわからないことばかりであった。
- 平成25年7月17日、古民家の進捗状況などについて、北山さんから古高・清水が話しを伺った。
- 平成25年8月27日、再度、北山さんと古高・清水が打ち合わせをした。
- 平成25年9月28日、森林塾青水の例会の上ノ原で、北山さんにストーブと木材の費用100,000円を渡す。清水さんも同席。
- 山口さんには、囲炉裏制作費用として30,000円を渡す。
- 平成25年2月11日、雪の中の古民家を見学、古高・清水。中で北山さんが作業中。大きなサッシがはいっていて、とても明るくなった。土間にはコンクリートが張られ、だんだん完成に近づいていることを、やっと実感できた。
- 平成26年度は、ようやく利用可能になるはずだ。夏の間には宿泊をしてみて、今後の古民家の内装の検討と、のらえもんではどのように利用可能なのかをイメージし、できるところからプログラムを作っていきたい。夏のキャンプの後に、ここで1泊できればと考えているのだが・・・。

古民家再生



窓や戸には寒冷地用のアルミサッシドアが入れられています。



床にはフローリングが敷かれていました。



朽ちた土台も取り替えられ綺麗になっていました。
北山さん：有り難うございます、ご苦労様でした。
これからも宜しくお願い致します。